

今年も大草胃腸薬を宜しくお願い致します！

大草胃腸薬は胃腸を元気にする胃腸薬です

大草胃腸薬は胃腸の不快感（もたれ、ムカつき、膨満感等）を改善するだけでなく健胃生薬が主体なので弱った胃腸の働きを良くします。

血圧が高めの方でも安心して服用できます！

胃腸薬に含まれる胃酸を中和する成分「炭酸水素ナトリウム」は血圧を上げる事があります。大草胃腸薬には、この成分が入っていないので血圧の高い方でも安心です。



ストレス性の胃痛・胸やけにもおすすめです！（ストレスの無い方はいません）

天然のカルシウム（ボレイ、沈降炭酸カルシウム）を配合した胃腸薬なので、ストレスからくる胃の不快感、胃痛に効果が期待できます。

毎日、服用していただけます！

私たちは毎日、飲んだり、食べたりと胃が働かない日はありません。当然、毎日負担がかかっています。大草胃腸薬は、胃を元気に丈夫にしますので、症状が続く時は毎日続けて飲んで下さい！

（ただし全ての胃腸薬にあてはまる事ではありません）

また、夜間は胃の内容物が少なく、胃酸による胃粘膜刺激が起こりやすいので潰瘍になるリスクが高いです。おやすみ前の服用で胃酸を中和し胃粘膜の損傷を防ぐ事が期待できます。



「しっかり治るまで」続けていただくご提案を！

大草胃腸薬を服用する有用性をご説明して下さい。

ご説明には弊社販促チラシの、胃は何をすところ？チラシ、（サイズ：B6両面印刷）、胃腸薬各種チラシ、重曹チラシ、胃腸薬リーフレット、スタンドPOPをご活用下さい。

また大草胃腸薬PV動画を店頭でご紹介下さい。

胃は何をすところ？

◆食物の貯蔵庫

のみ込んだ食物は、食道を通って胃に届きます。次々と送られてくる食物を受け入れて胃は拡大し、これらを貯蔵します。貯蔵している間には、胃液を分泌し、食物が胃の中で腐敗や発酵しないようにしたり、食物を下ドロドロにし、消化吸収を行う小腸へ送る準備をします。小腸での消化吸収には時間がかかり（最長で8~9時間）、一度に処理できる量には限界があります。胃は適量を少しずつ小腸へ送り込むように調節もしているのです。

◆胃酸は厄介もの・・・ではありません。

胃の入り口の締めりが悪く、胃酸が食道の方へ逆流し、粘膜が炎症を起こしジリジリする逆流性食道炎（胸やけ）や、自分自身の胃を守る粘液が減少し、炎症が起こる胃炎、さらに進行し穴があいてしまう胃潰瘍で、胃に痛み等の不調を感じると胃酸の分泌を抑える薬を飲むという対処をされている方がほとんどです。

胃液の大部分を占める塩酸（胃酸と呼ばれているもの）は、強い酸性を示し、胃の壁（粘膜）をただれさせるほどでも、これには食物等に混じる細菌類の消毒やタンパク質を分解する酵素の働きを助けるという大切な役割があるのです。その様な大切な役割がある胃酸を薬で抑え続けていたらどうなるのでしょうか？

胃酸減少による「消化不良や栄養素の吸収障害、殺菌力の低下や感染症への抵抗力の低下」を招くことも。抑えることだけに頼らず、本来の正常な機能を回復させ、防御力を維持することも大切なのではないでしょうか・・・。

◆胃の機能を正常にたもつために・・・

- ・冷たいものの摂取は控えましょう。（血流が悪くなり、活動力が低下します。）
- ・和食を中心とした食事を良く噛んで食べましょう。（添加物たっぷりのお弁当や加工食品は×）
- ・睡眠も大切です。（傷んだ組織は就寝中修復されます。）
- ・ストレスをため込まないように。一睡しいけど・・・(´；´)
- ・不要な鎮痛剤等の薬の連用はやめましょう。（粘膜を守る粘液の分泌が減少してしまいます。）

◆本来の働きを高め、胃腸を丈夫にします

- ・弱った胃を助ける健胃生薬の他に、出過ぎた胃酸を中和する成分も配合
- ・重曹は配合されていないので、血圧が高めで塩分摂取を控えている方も安心
- ・カルシウムもたっぷり！！
- ・ストレス性の不調にも○



大草胃腸薬 第3販促品